

座談会 大学と同窓会の結束力が問われる
都市型キャンパス未来予想図
2010年11月14日
第18回ホームカミングデーのご案内

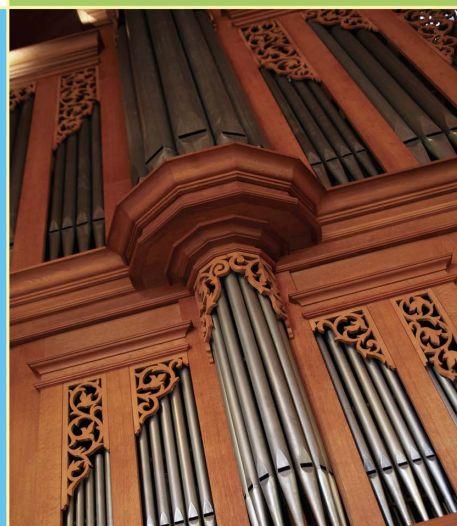


名古屋キャンパスに
学生アメニティ棟
「翼館」誕生



循環型エコキャンパスの
実現に向けて

OB's NOW
活躍する同窓生



会長あいさつ

同窓会は新体制で 本格始動します



名古屋学院大学同窓会
会長
小川博司

秋涼の候、皆様には、ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、同窓会運営にご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

理事長あいさつ

母校の現況



名古屋学院大学
理事長
伊藤信義

同窓生の皆様、大学は2009年に創立45周年を迎え、創立45周年事業の一環として、名古屋キャンパス白鳥学舎南側に、学生のアメニティの場となる「翼館」とテニスコート西側にクラブハウス「友愛」を竣工させました。「翼館」は、学生に憩いの場を提供し、快適な学生生活が過ごせるよう設計されており、学生生活・支援のための学生支援推進センター、資格センター、キャリアセンター、保健センターなどの各種

去る、5月21日の代議員会において、理事任期満了に伴い改選を行いました。前年度理事の方々には、同窓会運営に多大なるご尽力をいただきましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今年度も、11月14日(日)に「ホームカミングデー」を開催いたします。今年は、名古屋キャンパスに新築された新校舎「翼館」をご覧になって頂けることと思います。ご家族ご友人をお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、これからは、新たに理事に就任された方々及び代議員の皆様方にご協力頂き、より良い同窓会にしてまいりたいと思っております。これまで以上にご支援とご協力をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

センターと500名規模のホール(クライシスホール)から成っています。

一方、瀬戸キャンパスにおいては、現在の人間健康学部を改組して、2010年4月からスポーツ健康学部とリハビリテーション学部が設置されました。瀬戸キャンパスは、2008年にラグビー場を全面人工芝に改修し、2009年には野球場に照明設備を設けるとともに、サッカー場に人工芝を張り周囲に陸上トラックを整備しました。そして2010年から2011年にかけては、室内プールの新設(2010年9月竣工)、クラブハウスの改修、健康センターの設置、合宿所「友愛」の改築を計画しております。このように、学校法人として、今後とも名古屋キャンパス、瀬戸キャンパスそれぞれの教育環境整備に努めていく次第です。

なお、学校法人は、皆様から教育研究振興資金募金を募っております。ホームページ等で別途ご案内いたしておりますので、同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

GREETING

学長あいさつ

同窓生との交流と 教育改革に向けて



名古屋学院大学
学長
小嶋博

同窓会長をはじめとして役員の皆様の同窓会運営のご努力に深甚の敬意を表します。大学は、創立以来約3万8千人の卒業生を社会に送り出しました。2010年は瀬戸から名古屋へ移転して4年目を迎え、一層の飛躍のため、日々教育活動に専念して

おります。ご存知のとおり、10月には生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開催され、本学はサブイベント会場として施設を提供し、学生もCOP10ボランティアとして係わり、名古屋学院大学の存在が全世界に発信されます。また、地域の父母、企業、高校、同窓生に名古屋学院大学の現状を紹介し、大学の認知度を高めるとともに、受験生獲得、将来に向けて卒業生の支援・協力が得られるよう足固めをするため、昨年に引き続き、9月に『名古屋学院大学フェア in 金沢』を開催いたしました。大学のさらなる発展にあたり、同窓生の皆様のコミュニケーションの場である同窓会との連携は必須であり、これからも大学に対するなお一層の支援をお願いしたいところです。

これまで大学は、文部科学省等の打ち出した4つのGP(特色GP、現代GP、学生支援GP、学生支援推進GP)を獲得、教育活動、学生支援活動において、愛知県の大で例を見ない、素晴らしい評価をいただいています。また、昨年導入した本学の教育の根幹をなす概念である「NGU教養スタンダード」は、大学における教育の改革を目指し導入されました。全学部が全学にわたる共通の教養科目群をカリキュラムに配置し、各学部がそれぞれの特色を生かした教育を展開しています。

今後も、同窓生の皆様の活躍とともに、大学も教育改革に向けて邁進してまいりますので、これからも本学の教育に対し、同窓生の皆様の深いご理解をいただきますよう、お願い申し上げます。

第18回ホームカミングデーのご案内

■テーマ

ホームカミングデー

『ワールドダンスフェスティバル』

■日時

11月14日(日) 12:00～14:00

■場所

名古屋学院大学 白鳥学舎
1階レストラン

同窓生が年に一度、一堂に会するホームカミングデーを今年も11月14日(日)に名古屋キャンパスの白鳥学舎にて開催します。

今回は「ワールドダンスフェスティバル」をテーマに掲げ、1階レストランの会場を縁日風に彩ります。まるで縁日に来たような模擬店が立ち並び、楽しい雰囲気な立食パーティー形式です。在校生との交流も図りながら、和気あいあいと過ごしていきます。

もちろん、ご家族同伴の参加も大歓迎です。

また当日は、イベントも盛り沢山です。ホームカミングデー終了時間まで残っていただいた同窓生の方に、抽選で素敵なプレゼントが当たる「お楽しみ抽選会」も行います。是非とも多くの同窓生の方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。



入場
無料

昨年のホームカミングデーの様子

「第18回 ホームカミングデー」プログラム

- 12:00～ 開会
- 12:30～ 縁日イベント
- 12:40～ ワールドダンスフェスティバル
- 13:50～ お楽しみ抽選会
- 14:00～ 閉会

ホームカミングデーとは

名古屋学院大学卒業生のOB・OGとご家族、そして教職員が、NGUファミリーという大きな輪を拡げることを目的に、年に一度キャンパスに集い、コミュニケーションを深めるイベントのことです。



駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

例年の日程と異なりますので
ご注意ください。

今年の10月は「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」が名古屋で開催され、本学はサブイベント会場として施設を提供する為、ホームカミングデーの日程が例年とは異なっております。

伊藤信義

名古屋学院大学 理事長

出席者

小嶋博

名古屋学院大学 学長



座談会

大学と同窓会の結束力が問われる 都市型キャンパス未来予想図



小川博司

同窓会 会長

出席者

須崎英晴

司会 (同窓会 副会長)

小川博司同窓会会長が就任2年目を迎えました。また今年と同窓会の代議員の任期満了に伴う改選も行われ、新たな体制で同窓会が動き始めています。名古屋学院大学同窓会と母校との信頼関係をこれまで以上に強固なものにし、さらに発展していく為に今求められることを、伊藤理事長と小嶋学長、小川同窓会会長が語り合いました。

DISCUSSION

大学と同窓会の ベストバランスを

— 昨年、同窓会会長が小川新会長に交代し、新たな体制で同窓会の運営を始めて1年が経過しました。この1年で大学と同窓会の協力体制にどんな変化が生まれたとお考えか、お聞かせください。

小嶋学長(以下学長に略) 端的に言うと、小川会長と占部前会長のお二人に大学の理事会に入っていただいたことが、大きな変化だと思います。同窓会の新旧トップが大学の運営に参画するというのは実に大きな発展ではないでしょうか。私たち大学側としても、これを契機に在校生に対して同窓会の存在をもっと知らしめていくのが一つの課題だと考えています。



伊藤理事長(以下理事長に略) 昨年、大学創立45周年を迎えたことからわかるように、名古屋学院大学は他大学に比べて

割と若い大学に数えられます。卒業生が3万8千人を超えているとはいえ、第1期生の年齢は65歳くらいですから、大学の運営に携わっていただけの方々がまだまだ少ないのは致し方ないと思っております。ですが、これから創立50周年に向けて大学と同窓会の関係がますます密接になるのは間違いないと確信しております。同窓生の方々が名古屋学院大学の発展のためにキャンパスに結集していただき、もっと大学を盛り上げていただけないかと期待しております。

小川会長(以下小川に略) 昨年は北陸に3支部を立ち上げました。大学と同窓会の協力

体制を強固にしていくためには、同窓会が情報を提供する側になることも大切だと考えています。支部活動が活発化することで、こちらの知り得ない地方の情報も集まるでしょうし。今年、改選した代議員には支部の役員の方々にも入っていただいておりますので、徐々にその効果が出てくるのではないのでしょうか。代議員の数も93名から110名に増員しましたし、理事も1名ではありますが増員しております。また、卒業されたばかりの若い方をはじめ、各年代ごとに2、3名の割合で代議員に就任していただいたことも特徴の一つです。これは今までは違った考え方や発想で同窓会を運営していくためだけでなく、大学との協力体制にも良い変化をもたらしてくれるものと信じております。

特に外国語学部ができた93E以降の年代の同窓生は女性の比率が高くなっていますが、今回、女性の同窓生の方々が同窓会活動に関心をもち、代議員になっていただいたことは今後の同窓会活動の広がりにも大きな希望となっておりますね。



学長 若い世代の方々が積極的に同窓会活動に参加していただけるのは、大学側としても心強く頼もしい限りですね。

—今年2月に名古屋キャンパスに学生アメニティ棟「翼館」が完成し、学生の皆さんに精力的に活用されているようですが、その効果は今どう出ていますか。また、名古屋キャンパスに新たな学部の構想などはあるのでしょうか。

学長 「翼館」はまさに学生のアメニティ棟と

して機能しています。評判も良く、学生諸君の交流スペースとして日々利用されています。学生サポート組織として今年4月に、資格センター、学生支援推進センター、10月に教育学習支援センターを開設しました。これらの施設は、キャリアセンターとともに新設した「翼館」の2階と「曙館」の3階にあり、将来の進路やキャンパスライフを力強く支援していくことを目的としています。また、名古屋キャンパスの新学部設置に関してはまだ構想中です。今、本学に足りない分野は何か、社会的にニーズの高い学部は何か、など様々な角度から分析しながら候補を絞り込み、数年以内に新学部を設置する予定です。その際には「翼館」を新学部で活用することを想定しています。理事長がよく言われるように、「大学は学生のためにある」というコンセプトで、より快適な学内環境を整備していく予定です。



小川 私も名古屋キャンパスに伺いますが、年々快適で便利になっていくのがよくわかります。活気が違うな、と常々感じます。同窓会のみなさんにもこの活気を肌で感じていただきたいですね。そのためにも「ホームカミングデー」に是非とも足をお運びいただければと思います。

学長 「ホームカミングデー」だけといわず、同窓生の皆さんには気軽にお越しただけると嬉しいですね。何も用事がないと来にくいのなら、同窓会で「母校を見に行こう」ツアーを企画していただいても良いのではないのでしょうか。私たちとしても、同窓生の皆さんに「今の名古屋

屋学院大学を知っていただく」ことは非常に大切なことだと思っております。

都市型キャンパスの未来とは



—今、私立大学の都心回帰が加速しています。ここ数年以内に名古屋に戻ってくる大学もいくつかあり、競争が激化することも予想されます。都市型キャンパスとして先行する名古屋学院大学としては、どんな未来を描いていますか。

学長 大学の良さというのは、

最終的には教育の質だと思います。利便性はもちろん重要ですが、単に都心であればいい訳ではありません。良い教育を行い、社会で活躍できる即戦力をどう育てられるか。都市型キャンパスであることに満足しないことですね。名古屋学院大学は都市型キャンパスⅡ名古屋キャンパスだけでなく、豊かな自然環境あふれる瀬戸キャンパスもあります。この2つのキャンパスが持つそれぞれの良さを今後しっかりとPRしていくことが、名古屋学院大学の明るい未来づくりにつながると思います。

そのためにも同窓会の皆さんに名古屋学院大学の「今」をもっと知っていただき、PRにもご協力いただけると非常に嬉しいです。そして、もう一つ付け加えるならば、在校生に対し

て先輩として激励をしていただきたい。また就職面での支援もお願いできれば、いくら他大学が都心回帰をして来ても不安要素はありません。

理事長 18歳人口がこれから確実に減少していく未来を勝ち抜くために、都市型キャンパスとしての利便性を活かしたPRをしっかりとしていくことが大切だと考えます。もちろん、瀬戸キャンパスにはスポーツ健康学部とリハビリテーション学部の2学部があり、こちらの特徴も打ち出していく。そのためには同窓会の皆さんの大学運営へのご理解とご支援が非常に大切となります。

同窓生の立場から、大学への要望やアドバイスをどんどん出していただき、大学運営に積極的に参画していただけるようになると心強いですね。



小川 今回の座談会も多彩な話題が出ました。同窓会としても母校のPRを同窓生へ、周囲へ、あらゆる機会を通して積極的に行っていくことなど、まだまだ取り組まないといけない課題がいろいろと見えてきました。まさに大学と同窓会の結束力を高めることが大切だという点を痛感いたしました。今までは違う考え、新しい発想を導入し、大学とともに発展する同窓会であり続けたいと思います。

—ご多忙の中、多岐に渡りお話しいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

同窓会役員の名古屋学院大学同窓会を運営する

役員22名をご紹介します。

副会長
広報担当

須崎英晴

(78E)

今年度、新しく増員となった代議員の皆さんと共に、また、小川会長のもとで頑張っていこうと思います。

皆様の変わらぬご協力をお願い致します。

■所属クラブ/ゴルフ部



副会長
情報担当

伊藤嘉彦

(74E)

会えば一瞬にして馴染める同窓会。ホームカミングデーにてお会いできることを楽しみにしています。

■所属クラブ/ワンダーフォーゲル部



会長

小川博司

(74E)

会長に就任して1年半になりますが、同窓会の活動には、同窓生の皆様方のご協力がとても大切であることを痛感しております。

今後とも、皆様のご協力をよろしく願います。

■所属クラブ/ラグビー部



大学協力委員長

渡辺秀一

(82E)

大学は無量大の可能性を秘めた所です。将来何になりたいかを考えて大学生生活を送り、卒業したら同窓会に参加してください。

事務局長
総務担当

藪下靖浩

(82E)

同窓生の皆様、お元気ですか! 私もこんな調子で元気にやっています。是非ホームカミングデーにお越しいただき、懐かしい顔を拝見したいと思います。

■所属クラブ/ワンダーフォーゲル部



副会長
事業担当

安藤之人

(80E)

私は同窓会に携わるようになってから12年になります。諸先輩方の作り上げられた同窓会を、小川会長を、理事メンバー全員でバックアップし、充実した同窓会に致します。

■所属クラブ/ゴルフ部



事業委員長

脇田芳徳

(81E)

同窓生の皆様こんにちは。熱田区白鳥に新校舎が更になりましたことをご存知ですか? 第18回ホームカミングデーは、白鳥校舎のレストランと翼館を使用します。昨年以上の催しを企画しておりますので、是非ご家族皆様でお越しください。

■所属クラブ/ラグビー部、ユース部



広報委員長

近藤大輔

(96E)

新たに名古屋キャンパスに校舎が竣工しました。同窓生の方も是非大学に顔を出してください。

若い同窓生の同窓会への参加も期待しております。

情報委員長

南谷孝昭

(80E)

商工会議所のある会で同窓会監事の下村先輩とご縁をいただき、一昨年より理事に推薦していただきました。長らく忘れていた名古屋学院大学との絆を新たに心し、微力ながら情報委員長の職を務めさせていただきます。

■所属クラブ/ユースホステル部



支部担当委員長

笠井 修

(73E)

理事になって十数年、メンバーも若くなりました。これからも同窓会を知っていただく為に少しでもお役に立ちたいと思っています。

■所属クラブ/硬式野球部



広報副委員長

森田浩二

(88E)

同窓会は、とても楽しい集まりです。同窓生の皆様、是非参加してください。お待ちしております。

■所属クラブ/ゴルフ部



広報副委員長

伊藤富裕

(73E)

本年度より広報の仕事を担当することになりましたが、同窓生あつての同窓会です。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

情報副委員長

市川雅登

(83E)

新しく理事に就任いたしました。変化著しい時代の中、同窓会を通じて新たな交流を生み、会の更なる活性化を目指し努力してまいります。

■所属クラブ/ユースホステル部



総務委員長

安藤恵二

(81E)

卒業後、大学へ行ったことのない同窓生が多くいらっしゃると思います。一度ホームカミングデーに参加してみませんか? 楽しいですよ。

■所属クラブ/剣道部



大学協力副委員長

柴田哲治

(72E)

“狗馬之心”(くばのこころ) 母校に“恩返し”する好機に恵まれ感謝しています。後輩皆さんの“羅針盤”としてお役に立てれば幸甚です。

■所属クラブ/水泳部



総務副委員長

古澤茂雅

(78E)

本年度より理事を引き受けることとなりました。一生懸命務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

■所属クラブ/ラグビー部



事業副委員長

加藤達也

(84E)

本年度より、同窓会に参加させていただきます。今年は、事業委員を担当しますので宜しくお願い致します。

■所属クラブ/ユースホステル部



事業副委員長

高津佑典

(75E)

本年は事業副委員長の担当を受け、ホームカミングデーを開催することになりました。同窓会として18回目となります。皆様のご参加をお待ちしております。

■所属クラブ/硬式野球部



監事

下村直己

(73E)

今年度より理事を退任し監事を務めます。同窓会及び理事会に対して少しでもお役に立ちたいと考えております。

また、今年度から不動産部会を立ち上げましたので、「不動産業」の方はぜひご参加ください。

監事

長瀬憲八郎

(71E)

下村監事と一緒に、監事の職務(予算・決算及び同窓会事業の監査)を遂行していきます。

■所属クラブ/水泳部



支部担当副委員長

高橋公生

(90E)

大学を卒業後、職員として大学にお世話になっています。現在、図書館と情報教育を担当する学術情報センターに勤務しています。

支部担当副委員長

占部憲一

(71E)

会長時代は皆様に大変お世話になりました。

前年度は北陸地方に三支部が誕生しました。静岡、岐阜地方にもできればと考えています。

■所属クラブ/ラグビー部



代議員一覧

名古屋学院大学同窓会を構成する代議員110名をご紹介します。

氏名

氏名

氏名

氏名

稲垣民三 (68 E)	中村裕幸 (76 E)	高木喜弘 (83 E)	三田村直毅 (97 E)
中川博嗣 (68 E)	高木良之 (76 E)	田中 浩 (83 E)	中森建介 (98 C)
山本章五 (68 E)	大島誠一 (76 E)	油谷哲治 (83 E)	萩間一穂 (98 F)
水谷文穂 (69 E)	大野蔵彦 (77 E)	市川雅登 (83 E)	乃一剛英 (99 C)
長田孝二 (69 E)	伊藤 暁 (77 E)	寺尾正美 (83 E)	三輪将太郎 (00 F)
小松照幸 (69 E)	木之村和彦 (77 E)	加藤達也 (84 E)	阿部育代 (00 F)
鈴木 章 (69 E)	須崎英晴 (78 E)	鈴木隆幸 (84 E)	長瀬賢俊 (01 E)
塚本 久 (70 E)	古澤茂雅 (78 E)	村上令一 (84 E)	宮部 智 (01 E)
伊藤博義 (70 E)	吉田正人 (79 E)	浅野 清 (85 E)	小西崇之 (02 C)
生駒豊作 (70 E)	田辺俊之 (79 E)	古野吉聡 (85 E)	伊藤頼子 (02 E)
榎原金市 (70 E)	大北浩資 (79 E)	黒川 務 (85 E)	大橋さやか (03 F)
山本茂一 (70 E)	安藤之人 (80 E)	高田武彦 (86 E)	長瀬綾子 (03 F)
中野隆自 (71 E)	魚住正実 (80 E)	田中政信 (86 E)	棚橋良助 (03 F)
占部憲一 (71 E)	河本浩詞 (80 E)	倉地 徹 (87 E)	水野嘉文 (04 C)
長瀬憲八郎 (71 E)	田口幹夫 (80 E)	森田浩一 (88 E)	花村隆志 (04 E)
石川鎮夫 (71 E)	三輪武司 (80 E)	加古秀久 (89 E)	関戸秀東 (06 C)
中村得兵 (71 E)	目崎喜久雄 (80 E)	高橋公生 (90 E)	山川滋子 (06 F)
佐々木康一 (72 E)	南谷孝昭 (80 E)	江川博也 (90 E)	高田健嗣 (07 C)
森 保登 (72 E)	安藤恵一 (81 E)	丹羽智裕 (93 F)	児玉政和 (07 C)
柴田哲治 (72 E)	入川達三 (81 E)	浅見宏之 (93 E)	新美壮誉 (07 F)
伊藤富裕 (73 E)	加藤正昭 (81 E)	大西真太郎 (94 E)	伊藤彰徳 (08 E)
下村直己 (73 E)	脇田芳徳 (81 E)	岡本 康 (94 E)	川瀬法彦 (08 E)
笠井 修 (73 E)	藪下靖浩 (82 E)	北原暁秀 (95 E)	山内恵里香 (08 F)
伊藤嘉彦 (74 E)	桜井嘉人 (82 E)	近藤大輔 (96 E)	垣下晃毅 (09 E)
小川博司 (74 E)	井上高秀 (82 E)	田中友成 (96 F)	山内友里絵 (10 F)
小山民夫 (74 E)	小出 明 (82 E)	梅村圭一 (97 E)	竹内祐貴 (10 E)
岡本孝一 (75 E)	渡辺秀一 (82 E)	島田敏生 (97 C)	
高津佑典 (75 E)	増田裕充 (82 E)	川口達也 (97 E)	

HOT NEWS

第一回
福井支部同窓会を
開催

支部会だより

福井支部 支部長 山本章五 (68 E)

過日8月14日、第一回福井支部同窓会を開催致しました。苦言ですが、出欠の返信の少なさにはびっくりさせられました。出席人数も極端に少なく、寂しくも残念に思っております。開催日が悪かったのかと自問自答していました。でも、返信の中には元気付けられる言葉を頂いた方や次回は必ず出席したいとコメントを書いてくださった方々もおられ取り直しております。

少ない人数でしたが、楽しい一時を過ごす事が出来ました。小さな輪が大きな輪に広がって行く時の、産みの苦しみかと思いついている次第です。前を向きながら更なる一歩を進んでまいりたいと思っております。福井出身の同窓生の皆さん、次回は一人でも多く集ましましょう。そして、名古屋学院大学の卒業生として胸を張り、英知と勇氣と情熱を持って前進しよう！



日々「誠心誠意」を モットーに、 行政トップの 要職を担う



Profile

山下卓司 氏
(70E)
桑名市 副市長

平成16年12月、三重県の多度町と長島町、旧桑名市の一市二町が合併し人口14万人を超える都市として誕生した新「桑名市」。三重県有数の観光と産業を持ち、名古屋圏のベッドタウンとしても発展する桑名市の市政を副市長として束ねる山下卓司さん。大学時代の思い出や、行政トップとしての心構えなどを語っていただきました。

私が名古屋学院大学に通い始めた頃は、まだ砂田橋にキャンパスがありました。名古屋に4年間通うつもりで入学したのですが、キャンパスは瀬戸市に移転。通ってみると遠くて、バスの本数も少なく、なんて不便な場所に大学を作ったんだ...というのが正直な感想でした。当時は大学が郊外にどんどん移転していく時代で、例えば、名古屋学院大学はその先駆けだったといえます。そして再び名古屋に戻って来た今、他大も都心に戻る傾向があるようで、まさに隔世の感があります...

私は今、桑名市の副市長職を拝命し、より良い行政

サービスが行えるよう日々務めております。しかし、社会人としての第一歩は民間会社からスタートしました。大学卒業後、名古屋市内の港湾関係の会社に就職しましたが、家庭の事情で地元桑名に戻ることに。桑名市役所の中途採用試験に応募し現在に至る訳です。最初の勤務先は市民病院からはじまり、いろいろな部署を経験しました。特に企画畑が長く、一番印象に残っている仕事は、平成4年にはじめたゴミの分別収集に関するものです。今では当たり前のようにリサイクルという言葉が定着していますが、当時はまだゴミを「分別して捨てる」という概念が普及しておらず、住民の皆さんのご理解を得るために日夜汗を流したことがまるで昨日のことのように思い出します。ゴミの分別収集は東海エリアでは桑名市が一番早く、「ゴミを制する者は天下を制する」くらいの心構えで毎日取り組んでいました。このゴミの分別収集がきっかけで、住民の皆さんとつながることができ、街づくりに関して一緒に考えていただける素地ができたことが今では私の誇りでもあります。



これも大学在学中に学んだ、「何事もあきらめずに、一歩一歩前進する」精神がしっかりと思いついていたからかもしれません。また、私のモットーは「誠心誠意」であり、物事の失敗を恐れるあまり行動できないような中途半端なことはしないよう努めています。チャレンジ精神を持って常に行動していれば、いつか結果はついてくると思います。地方財政が非常に厳しい時代ですが、桑名市の発展と住民の皆さんの快適な暮らしを守るために日々努力を惜しまず、魅力ある街づくりに取り組んでいくつもりです。もし、同窓生の皆さんのご子息や名古屋学院大学の在校生が桑名市役所に入りたいだけのことであれば、是非一緒に街づくりにチャレンジしたいものです。

最後に、名古屋学院大学のさらなる発展と、同窓生の皆さんのご健康とご多幸を心から祈っております。



Profile

田邊益己 氏
(72E)

遠州信用金庫 理事長

昭和25年の創立から60年にわたり、静岡県で金融事業を営んで来られた遠州信用金庫。現在は静岡県浜松市を拠点に、大井川から豊橋までの営業エリアで25店舗を展開されています。理事長を務める田邊益己さんは本学の経済学部卒。信用金庫の経営に携わる思いを語っていただきました。

遠州信用金庫は今年創立60周年の節目を迎えました。元々、浜名信用金庫と引佐信用金庫という2金庫が昭和46年秋に合併してできた金融機関です。また来年は遠州信用金庫が誕生して40周年という、こ

れまた節目の年を迎えます。私が遠州信用金庫に入庫したのは昭和49年でした。昭和47年に名古屋学院大学を卒業後、名古屋の会社に就職しておりました。長男だったのでいずれは実家のある浜松へ戻るつもりでしたが、予定していた年数よりも早く切り上げて浜松に戻った訳です。就職先に遠州信用金庫を選んだきっかけは、自宅の近くに本店があったこと、自宅の口座を開いていた。



関係もあり、何か縁を感じたので試験を受けました。以来、遠州信用金庫一筋です。オートバイに乗って得意先回りを行ったり、教店舗で支店長も務めるなど、約30年の間現場勤務でした。金融機関でいうところの本部に来たのが53歳の時です。営業・審査・企画・運用と金融機関の業務の大半を経験してきました。本部に入り役員になって7年目、そして私は今年6月の総会において理事長に選出され、現在に至っております。

先程も述べたように、今は大切な節目の時期です、

また貸し出しに関する信用リスクや有価証券運用の市場リスクなどを見極め、しっかりと営業数字を把握していくことが私の役割です。リーマンショック以降、景況観はまだまだ厳しいままです。当金庫を信じて大切なお金を託していただいている皆様、得意先の資金面や経営戦略面での相談など、あらゆる顧客のご期待を裏切らないためにも「とにかく誠実な仕事を心掛ける」よう職員には日々訓示しています。そして、様々な目標に対して「すぐやる。必ずやる。できるまでやる。」を合言葉に、誠実に取り組むことを徹底させているところです。大げさに言うところ「小細工をしないで、きちんとした仕事を行う」ということ。

遠州信用金庫はいわゆるオーナー企業ではありませんが、私の最大の使命は次世代にうまくバトンタッチをしていくことだと考えております。一番舵取りが難しい時期に要職を拝命した、という感じでしょうか。もちろん、やりがいはいくらありません。

私は働き始めて約40年になりますが、やはり誠心誠意を込めて仕事に取り組んできたことが一つの誇りです。きっと皆さんには同じ学び舎で教えられた者として、ご理解いただけるのではないかと思います。

最後に、同窓生の皆さんのご活躍と、同窓会のごさらなるご発展を祈念いたします。

「すぐやる。
必ずやる。
できるまでやる。」
誠実な仕事を
心掛けて

人生は「あわてながら楽しむ」 出会いが最大の財産



Profile
舘野文誉 氏
(91E)

ヤナセバイエルンモーターズ株式会社
名古屋支店 セールスマネージャー

輸入自動車販売業界の雄「ヤナセ」にこの人あり。日本全国に数あるヤナセのディーラー網の中で、名古屋にいながら7年連続全国1位の販売実績を誇る舘野文誉さん。その活躍ぶりは全国ネットのTV番組や経済雑誌、地元TV局など各メディアに取り上げられています。舘野さんにその素顔を語っていただきました。

私は名古屋学院大学在学中、ゴルフ部に所属していました。20歳の時に「プロゴルファーを目指そう」と決意し、大学卒業後は就職せずに中島常幸プロの門下生となりました。30歳までチャレンジしようと考え、中島プロのところまで300万円を軍資金に単身オーストラリアへ渡航。3年頑張りましたが、結果が出なかったのと資金が底をついたため帰国しました。

30歳まで決めたプロゴルファーへの挑戦が終わり、次のステージ「就職先」を探す訳ですが、ずっと勝負の世界に身を置いていたので「どんな職業に就くにせよ、勝ち負けがはっきりする仕事がいい。」と思いきや、

にお世話になった次第です。自分が頑張ったら結果が出る、数字がしっかりと出るところにいたかったんですね。ヤナセに入社して11年になりますが、BMWの販売担当になってからは7年連続でヤナセの全セールスマンの中で1位の販売実績をキープしています。「名古屋に東京の人間に負けない奴がいる。」と話題になり、マスコミにもいろいろ取り上げていただきましたが、名古屋に場所はあまり関係ないと思っています。もちろん、名古屋発信で全国で一番を獲るといふことに意味はありますが、名古屋学院大学の代表としてという気概もどこかにあるかもしれませんね。

名古屋学院大学の卒業生の中には、自分で会社を立ち上げた起業家や、会社の後継者として経営に携わる人も多く、ビジネス面で非常に頑張っている方々がたくさんいらっしゃいます。また同窓生としての仲間意識が強く、横のつながりも広がりました。刺激を受けることが多々あるし、いろんな意味で良い大学を卒業したと思います。



私の座右の銘は「不動心」。一度やると決めたら、求める結果に向けて心を動かさず邁進する。この精神が全ての原動力となっています。今の仕事の肩書きはセールスマネージャーで、販売をしながら若手の育成も求められています。そろそろ販売の第一線から身を引いて、マネージメント面を管轄する年齢になったのかもしれませんが、私は現場が好きなので「ブルーイングマネージャー」として新しいスタイルを確立

すべくチャレンジしていこうと考えています。唯一無二の立ち位置を目指し、不動心で立ち向かう…。

人生の時間は無限にあるようで、実に限られています。例えばあと10年あるのではなく、もう10年しかないと思わないと、人生の楽しみを満喫できないのではないのでしょうか。私はいつも「あわてながら楽しむ」という考えで行動しています。そして人生にとっての財産は人とのつながりにつきると思っています。出会った人によって、人生を変えることができるのですから。



Profile
高橋重憲 氏
(97E)

中京テレビ放送株式会社
編成局アナウンス部 主事

在名テレビ局の中京テレビ放送株式会社に名古屋学院大学卒業生のアナウンスがいることをご存知ですか。月々金のお昼11時30分から「ストレイトニュース」、同じく月々金の夕方4時49分から「News@5:55」に出演中の編成局アナウンス部主事、高橋重憲さんです。アナウンスを目指しての活動などを伺いました。

私が将来就きたい職業としてアナウンスを意識したのは小学5年生の頃です。アナウンスになるための就職活動の準備をはじめたのが大学3年生の夏あたり。今から15年前前で、当時としてはかなり早い行動でしたね。それまで特に何の勉強もしていなかったのですが、アナウンスの基礎を学ぶアナウンス学校に通いはじめたのがその時の秋。マスコミ志望の学生が名古屋のほぼ全ての大学から集まっています、すごく刺激を受けたことを覚えています。そして年が明けて1月から東京キー局の試験がはじまり、以降に大阪、名古屋から地方局までほぼ1年にわたって各局で採用試験が行われる訳です。しかし、アナウンスの採用枠は基本的に1名、キー局以外は毎年採用試験があるものではないので

大学時代の一番の思い出は就職活動

す。東京のあるキー局の試験では、数千人の出願者から選ばれた50名ほどの枠に残り、自分なりに手ごたえを感じ、この年は30局ほど試験を受けましたが、残念ながらどこからも採用されることはなく4年生を終えました。

マスコミ関係は新卒者扱いが基本ですから、やむなく留年という形をとりました。今では就職活動に対する理解や支援策が多く、休学などいろいろな方策も考えられますが、当時は何の支援もなく本当に無念だったことが思い出されます。そして、満を辞しての就職活動2年目。前回と同じ轍を踏んではいけないと思



い、東京のアナウンス学校へも通いました。ここではレベルも意識もかなり高いアナウンス志願者が集まり、お互いに刺激し合い、文字通り切磋琢磨したものです。そして、その年の採用試験。キー局から前年と同じように受けていく訳です。結果

は鹿児島と山梨の局から採用通知をいただきました。私の希望は東京キー局が在名テレビ局でしたから残念でしたが、どこにいてもアナウンスの仕事は変わらないと考え、鹿児島の南日本放送に入社しました。テレビとラジオを擁する伝統あるテレビ局で、報道が強く、とにかく上下関係の厳しい会社でしたね。しゃべりのイロハ一つとっても妥協はなく、社会人としての立ち居振る舞いなども本当に厳しかった。そんな厳しい環境の中で鍛えられる毎日でしたが、人の縁というのはわからないもので、入社3年目を迎える間に今の会社、中京テレビのアナウンス中途採用の話が舞い込んで来りました。中京テレビの試験を受けて、地元名古屋に戻って来ることになりました。南日本放送は3年2ヶ月在籍、中京テレビには来年でまる10年在籍となります。今思い返せば、南日本放送時代にアナウンスとして、社会人としての基礎を身につけてもらいました。「鹿児島が私を育ててくれた。」と、心から感謝しています。

最後に、大学時代の西村ゼミ生として西村先生には、二方ならずお世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

名学大卒業生の 無名会の集まりについて

無名会は還暦を迎えた大学卒業生を中心に、クラブ・ゼミを越えた横断的な会員で構成されており、現在1972年3月卒業までの方31名が加入されており、構成員は新聞会・自治会・大学祭などに所属していた卒業生の方が主体です。年に3回の会合をもち、毎回担当幹事を変え「わが町を訪ねて」というテーマで



各地を訪問しています。2010年は、1月にレストラン「SHOWS」のオーナーでソムリエの石黒氏によるワインの講習会を榮で開催しました。4月には犬山市の国宝建築物見学と城下町の散策を行いました。

9月には瀬戸キャンパスの見学会、新規会員の講演、それに瀬戸物絵付けを企画「わが町品野台を訪ねて」を行いました。

代表幹事 寺尾孝司(69E)

名古屋学院大学同窓会事業別部会 不動産部会設立

去る2010年6月11日に「名古屋学院大学さかえサテライト」同窓会室において、小川博司同窓会会長を迎えて合計25名出席し「不動産部会設立総会」が開催されました。

経過報告の後、不動産部会会則が承認され、また部会長として下村が承認されました。

当分の間、年会費は徴収せず、当日会費にて運営さ



れ年4回ほどの定例会開催となりました。

設立後最初の会合として、9月1日に品野台カントリークラブにてゴルフ会を行い、夜には懇親会を開催し親交を深めました。

名古屋学院大学卒業生で不動産業を営む方は是非ご参加ください。参加を希望される方は同窓会事務局までお申し出いただければ、詳細をご案内いたします。

名古屋学院大学同窓会不動産部会
会長 下村直己(73E)

ワンダーフォーゲル部OB・OG会 「ホームカミングデー」会場で開催

「熟年登山」「山ガール」がマスコミを賑わしています。当大学創立の60年後半〜70年代は「山男」が一般的な呼び方でした。その後、21世紀に突入し、残念ながらワンダーフォーゲル部は廃部となってしまいました。

当部のOB・OGの同窓生は、大学生活の趣味を活かして、当時のパーティで再び登山を楽しんだり、家族でキャンプ、川遊びなど山野に親しんだり、夫婦で里山を散策したり、リフレッシュしています。

スポーツでありながら、勝ち負けを競うのではないのが、ワンダーフォーゲル部の特長ですが、

危険を伴うだけに、綿密に計画し、機敏に行動しなければなりません。そんな中、好天気に恵まれた日には、稜線のお花畑にさわやかな感動を得られる時もあります。そんな想い出を抱き、卒業してからも、当同窓生は時々夜のパーティも開き、文字通り「同じ釜の飯」を、いまなお開んで過去から現在の環境を分かち合っています。

当部のOB・OG会のメンバーは120数名が連絡を取り合っています。アメリカのデトロイトのメンバー、香港のメンバーは当同窓会のホームページの掲示板で、それぞれの「みち」の便りを発信しています。

さて、今年も「ホームカミングデー」会場で、OB・OG会を開催します。気軽に参加してください。

名古屋学院大学ワンダーフォーゲル部
OB・OG会 責任者 伊藤嘉彦(74E)



CLUB & CIRCLE OB&OG, SEMINAR REPORT

クラブ&サークル、ゼミナール短信

グリーンクラブOB会

「名唱会」活動報告

グリーンクラブOB会は「名唱会」という名前で今も活動を続けています。68Eから83Eまでの幅広いOBの参加をいただいております。2011年には演奏会を開催するべくオリジナル曲を練習しています。

愛知県在住のOBはもとより岐阜、三重、和歌山、奈良からも練習に参加されているOBもいらっしゃいます。練習は毎月3回行っており、毎年6月には総会を行い、運営に関して役員を選出し新しい目標を掲げて練習をしています。現役時代には怖かった先輩方ともすっかり距離が近くなり、表面上の敬語を駆使しながら楽しく練習を行っています。去る9月5日には遠路神戸より長年御指導いただきました

きました洲脇先生にもお越しいただいて楽しく食事をする時間も設けさせていただきました。83E以下のOBの皆様にも是非参加していただきたく、今回同窓会事務局にお願いして紙面をあけていただくことになりました。皆様の参加を待ちしております。



名古屋学院大学グリーンクラブOB会「名唱会」
広報書記 松永鐘治(79E)

練習日
毎月第一、第三、第四土曜日
18:30~20:30

練習場所
六反コミュニティーセンター
名古屋市中村区名駅南4丁目4番地

連絡先
79E 松永鐘治 080-3628-0459
83E 平野孝佳 090-8734-3513

WEBLOG.
<http://meisyoukai.mediakat-blog.jp/>

E-MAIL
eternal_pinecone@mediakat.ne.jp

同窓会運営の報告

同窓会の事業は年に2回の代議員会と9~10回の理事会で十分に協議・審議され、運営されています。各委員会が設けられ、その中から事業計画案及び予算案を検討した上で会議に提出され、議論を重ねて遂行しています。

2009年度 事業報告

▼総務委員会

- ◎卒業記念品の贈呈
- ◎優秀クラブ表彰(23クラブ)

▼広報委員会

- ◎会報の発行
小川博司新会長のもと、新体制の同窓会を特集。北陸新支部の紹介及び40周年記念事業の報告。3万部を製作し、9月末に発送を行った。

▼情報委員会

- ◎同窓会ホームページの更新

SPOT LIGHT

▼支部委員会

- ◎北陸に3支部設立
- ◎支部活動の支援
関東支部・三重支部・石川支部・富山支部が支部会開催

▼事業委員会

- ◎第17回ホームカミングデーの開催
2009年10月31日(土)
白鳥学舎1階レストラン
縁日風屋台やアトラクション・抽選会などを企画。同窓生・家族・教職員との懇親会を開催
参加総数260名(卒業生120名
家族50名 来賓・教職員40名 在校生50名)

▼大学協力委員会

- ◎新棟建設への寄付
- ◎大学45周年記念事業への参加
- ◎2009年度 大学フェア in 金沢開催への協力
- ◎エグゼクティブ同友会への協力

以上の活動を中心に行っています。各会議の議事録、決算書、規約等を確認されたい方は、ご面倒ですが事務局にお問い合わせください。
なお、理事は代議員の互選により選出し、総会の了承を求められた者であり、代議員は各卒業年次の会員から改選前の理事会で選出された者であります。

▼同窓会終身会員について

同窓会では、学生・卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力いただけるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入していただいた方及び同年度3月以降卒業の方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないこととなっております。なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願い致します。

▼年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりと財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のお振込をお願い致します。

- 年会費 一口 2,000円
- 終身会員費 1万円

既に終身会員の方は不要です。

キャンパスの整備状況について

名古屋キャンパス白鳥学舎で進められていました「翼館」、クラブハウス・合宿所「友愛」は今年春に竣工し、4月から利用されています。キャンパスアメニティ環境の充実を目指し、翼館1階の学生ラウンジ、2階のアメニティコーナーには多くの学生が集っています。また、海外からの研修団のパーティ、ミニコンサート、映画上映、各種会合の開催と様々に使われています。

瀬戸キャンパスは学部改組を行い、今年4月からスポーツ健康学部とリハビリテーション学部の新入生が入学しました。

これを受けてスポーツ施設を充実しています。体育館西側の既存プール跡地に建設中の室内プールは8月に完成し、授業等に利用されています。25メートル4レーンの温水プールは最新の循環濾過システム、床暖房を備えています。第2グラウンドは人工芝化され、周囲に陸上トラックが配置されています。テニスコートは夜間練習が出来るように一部照明が設置されました。

この他、今年から来年にかけ、瀬戸キャンパスではクラブハウス、健康センター、合宿所「友愛」の新築・改築が予定されています。近くへお越しの折にはぜひお立ち寄り下さい。

教育研究振興資金 募金のお願い

名古屋学院大学は、昨年創立45周年を迎えました。これもひとえに皆様方のご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。引き続き本学の教育活動の一層の充実と発展のため、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご送金方法

郵便局からお振込みください。

郵便振替 00890-9-80542

口座名義 学校法人名古屋学院大学

免税措置 募資金額により所得税法の免税の措置が受けられます。

お問い合わせ先

名古屋学院大学 財務課 募金係
〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号
TEL 052-678-4084

瀬戸キャンパス



室内プール
外観
25m、4レーン
温水プール



テニスコート
フェンス取替・照明設置



室内プール



第2グラウンド
サッカー場
陸上トラック

名古屋キャンパス



翼館



クライホール(5階)



学生ラウンジ(1階)



クラブハウス・
合宿所「友愛」
クラブ部室 8室
合宿室 8室

名古屋学院大学の教育改革の取組が文部科学省GPIに採択

近年、文部科学省は全国の大学の教育改革の取組の中から優れたもの(Good Practice)を選定し、経費支援をしています。本学は2009年度に3つのGPIに選定されており、国からの補助を受けて、教育環境や学生支援をいっそう充実させていきます。

- 「経済学コア6の形成と2年次の学習達成基準」
- 「大学教育・学生支援推進事業」テーマA「大学教育推進プログラム」
- 「就職活動の長期化を防ぎ学土力を確保するプログラム」
- 「大学教育・学生支援推進事業」テーマB「学生支援推進プログラム」
- 「北海道・関東・東海・近畿の大学連携による「知域」拡大プロジェクト」
- 「大学教育充実のための戦略的連携支援プログラム(戦略GPI)」

名古屋学院大学ニホンミツバチプロジェクト

ニホンミツバチプロジェクトとは

2010年10月に、名古屋キャンパス白鳥学舎と隣接する名古屋国際会議場を主会場に、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催される予定です。このCOP10の開催地から、都会における生物多様性の取組を実践していくことと、このプロジェクトが企画されました。

本プロジェクトの目的は、(1)地域生態系の向上、(2)蜂蜜を活用した商品開発や環境学習などを通じて地域活性化、(3)参加学生の実践力の育成、です。

ミツバチは受粉を助け、できた果実に野鳥が集まり、害虫を捕食してくれる効果が期待されます。また、ミツバチの飼育を通じて環境教育を実践することで、生物多様性の啓発活動にもつながります。そのため、飼育するミツバチは、養蜂用のセイヨウミツバチではなく、在来種であるニホンミツバチにこだわりました。

ミツバチプロジェクトの広がり

都会での養蜂の試みは、日本では2006年に東京銀座で始まった「銀座ミツバチプロジェクト」によつて注目され、その後全国数十カ所に広がっています。また、世界的には、フランス・パリ市内のオペラ座、エッフェル塔などで行われており、パ

リ産の蜂蜜として販売され話題になっているそうです。また、米国では、オバマ大統領がホワイトハウスでも始めたとの報道もあるようです。

名古屋では、今年から愛知県庁などでも行われるようになり、本学は4例目、教育機関としては初の試みとなりました。

地域活性化のロールモデルを目指して

6月にニホンミツバチ3群が納品され、本学地域連携センターの管理・監督のもと、「翼館」屋上に学生有志チームによるミツバチの飼育が始まりました。

7月には、映画「昆虫物語みつばちハッチ」試写会を「翼館」クラインホールにて開催、また、ジェイアール名古屋タカシマヤでの「I Loveみつばちハッチ展」では、子供向け採蜜体験イベントを実施しました。

さらに、日比野学舎1階にある学生運営の「カフェ&ベーカーリーマイルポスト」では、採れた蜂蜜を使った商品開発を行っており、9月から販売を始めました。今後は、地元の日比野商店街とも連携して、地産地消の「名学ハチミツ」を使った商品開発を進めていく予定です。

このように、環境教育から商店街活性化まで、さまざまな取組みがすでに生み出されていますが、地域活性化の新しいロールモデルとなるように、本学のミツバチプロジェクトを育てていきたいと考えています。

COP10でボランティア

10月11日(月)から29日(金)まで、「COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)」が、名古屋国際会議場を主会場として開かれます。本学は生物多様性交流フェアのフォーラム会場として、白鳥学舎の体育館を期間中貸し出し

ます。このCOP10のフォーラムに、事務局から外国語学部の学生に対してボランティアの依頼がありました。語学力TOEIC600点相

循環型エコキャンパスの実現に向けて

本学は2003年3月「名古屋学院大学環境宣言」を行って以来、地域の自然環境保持と地域社会活動への参画を通して、学生と環境問題を考える環境教育を推進しています。また、

利用の節約等にも努めています。

その結果、本学のエコ活動の取組「大学と地域の協働による循環型社会の実現に向けた環境プロジェクト」が2010年「愛知環境賞」を受賞しました。

本年はハード面では、2010年3月に竣工した「翼館」屋上に発電量27KWの太陽光発電パネルを設置しました。また、9月には「泉館」(体育館)屋上の633.6㎡をモスグラス(スナゴケシート)による屋上緑化工事をいたしました。

ソフト面では循環型エコキャンパスの実現に向けてイラストに掲載されているとおり植物と蜜蜂のプロジェクトが春から活動しております。

※ニホンミツバチプロジェクトについては別掲記事をご覧ください。

●植物プロジェクトの構成

- ①植林された山で間伐され、そのまま放置してある間伐材を材料にプランターを作成。
- ②プランターは日除けのアサガオの植栽やニチニチソウの花壇に使用。
- ③植栽の散水は体育館屋上の雨水を貯水(100t)したものを使用。
- ④アサガオの蔓のネットの支柱は瀬戸キャンパスの竹林から搬出。
- ⑤植栽に使用した培養土は堆肥造りに還元。
- ⑥馬術部の厩舎の敷きわらや馬糞、落ち葉、生ごみ等で堆肥を作成。
- ⑦堆肥は翌年の植栽や野菜作りの素肥に使用。
- ⑧野菜畑で栽培したサツマイモは瀬戸の陶芸館まつりに共催される焼き芋まつりに提供。
- ⑨焼き芋に使用する薪はキャンパス内の間伐材を使用し、消し炭は土壌改良材として使用。
- ⑩名古屋キャンパスの生ごみはミズコンポストで肥料に変換。





▲ 昨年の名学大祭の様子

第46回名学大祭開催

11月13日(土)・14日(日)

第46回名学大祭を開催します。今年のテーマは「奏音(かのん)」です。

「大学祭に携わる学生・教職員・地域の方々が一体となって、大学祭というひとつの音楽を奏でて欲しい。そして、その音色(ヌッセージ)をいつまでも忘れずに、心の中で奏で続けて欲しい」という想いが込められています。

もちろん、今回も「こみ箱ゼロの大学祭」です。リユース食器を使用し、生ごみは堆肥化します。また、エコ企画やCOP10の展示、模擬店、クラブ活動発表、キッズ企画、ステージ企画など充実した企画を用意し、卒業生の皆様や地域の方々の交流の場ともしていただけるよう、準備をしています。

ぜひご来場ください。お待ちしております。

第4回瀬戸キャンパス祭開催

10月9日(土)

10月9日(土)、瀬戸キャンパス所属の学生が主催する大学祭「瀬戸キャンパス祭」を開催します。

今回のテーマは「飛翔―僕たちの夢へ―」です。

模擬店、ステージ企画のほか、フットサル大会や全員参加のビンゴ大会など企画満載です。また、ストラックナイン、ジャンボだるまおとし、風船わり競争など幼稚園児や小学生が楽しく遊べる遊具も用意していますので、卒業生の皆様もお子様連れでこの機会にぜひ瀬戸キャンパスにお越しください。お待ちしております。



▲ 昨年の瀬戸キャンパス祭の様子

2010年4月、瀬戸キャンパスにスポーツ健康学部・リハビリテーション学部が誕生

2006年度に開設した人間健康学部(人間健康学科・リハビリテーション学科)は2009年3月、初めての卒業生を送り出しました。また、リハビリテーション学科卒業生の理学療法士国家試験合格率は98.3%で、全国平均を大きく上回ることができました。(全国平均:92.6%)

これを機により一層「人間と健康」への理解を深め、高度な専門知識と技術を修得するため、2010年4月、人間健康学部をスポーツ健康学部(スポーツ健康学科)とリハビリテーション学部(理学療法学科)に改組しました。

スポーツ健康学部ではスポーツトレーニングコース、健康スポーツ教育コース、地域スポーツレクリエーションコースを設け、スポーツ科学、健康科学を中心として心理学、社会学、社会福祉学などの幅広い領域を学び、スポーツ運動指導や保健指導等を実践できるリーダーとして活躍できる人材を育成します。

リハビリテーション学部では、医療分野をはじめ、保健(疾病予防や健康増進)・福祉(施設や在宅での支援)の分野でも活躍できる、時代のニーズにマッチした本物の理学療法士を育成します。

資格センター、学生支援推進センター、教育学習支援センターについて

2010年4月に、資格センター、学生支援推進センター、10月に教育学習支援センターを開設しました。これらは、キャリアセンターとともに新設した翼館の2階に設置しており、将来の進路やキャンパスライフをますます力強く支援していきます。

資格センターは、学生の資格取得サポートをおこないます。資格取得支援は以前でもキャリアセンター業務の一部としておこなわれてきましたが、今年度から独立しました。簿記、宅地建物取引主任者、行政書士等をはじめ公務員試験対策など学生に人気のある資格講座をそろえ、強みにバックアップしています。比較的取得しやすい資格から難易度の高い資格まで段階的に取得させることにより、学生の意欲・達成感を重視しながら、高い目標を目指す指導態勢をとっています。就職活動に有利というだけでなく、大学4年間を講義とは違う面から充実させてくれると期待しています。

同時に開設した学生支援推進センターは、愛称はSプラッツといえます。学生支援全般、正課外教育に関するをおこないます。講義に興味があらず欠席が多い学生、反対に学

内でやってみたい取組みはあるけれど、実現方法が分からない等、色々な「問題」を学生は抱えています。独立した部署を作ることに由来よりもセンター職員からのより積極的なテクニクシオンを心がけ、教務課、学生課、キャリアセンターという枠組みではとらえきれない相談や希望に幅広く応じることで、学生の大学生活が充実することを期待しています。

10月には本年度3つ目のセンターとして教育学習支援センターを開設しました。

本格的な業務は2011年度からになりますが、教育学習支援センターは入学前教育、基礎教育、学部等の行事、FD活動(教員が、授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組)に関する業務をおこないます。今の大学は学習意欲や学習能力などの点で多様な学生が学んでいます。これらの学生に対応するために、入学前から彼らの基礎力をつかみ、不足は補い、意欲を高めるような仕組みが必要です。また、教える側も多様化した学生に対応し教授方法を変える必要があります。このような大学が抱える状況に対して、支援、取り組みのが教育学習支援センターです。

名古屋学院大学地域連携センター シティカレッジ秋講座のご案内

地域連携センターでは、学部の専任教員を中心とした公開講座「シティカレッジ」を年間通して開講しています。現在、秋講座を募集中ですので、同窓生の皆様のお申込みを心よりお待ちしております。

講座の詳細はホームページ（<http://www.ngu.jp/extension/citycollege.html>）をご覧ください（TEL 052-678-4085）

分類	講座テーマ	開講期間	曜日	回数	時間	受講料	場所
コミュニケーション講座	英語で話そう(中・上級)	10/6～12/15	水	10	10:30～12:00	10,000円	A
	中国語でコミュニケーション!(中級)	10/4～12/13	月	10	13:20～14:50	10,000円	B
	イザという時にへこまない大人の心理学!～笑って学ぶセルフコーチング～	10/20～11/17	水	4	19:00～20:30	4,000円	A
文化講座	アジア観光指南	2/2～2/23	水	4	18:30～20:00	3,000円	A
	自然を観察して	11/2～11/30	火	4	18:30～20:00	4,000円	A
健康とスポーツ講座	からだの発育発達の特徴とスポーツにおけるメンタルマネジメントについて	1/12～2/2	水	4	18:30～20:00	4,000円	B
	素晴らしく広がる心理学	10/18～11/15	月	4	14:30～16:00	4,000円	A
	理学療法士が語る運動は体に良い? 悪い?	10/7～10/28	木	4	15:05～16:35	4,000円	B
特別講座	絵本と子どもとキリスト教	11/25～12/9	木	3	15:30～17:00	無料	A

注) 場所のAは名古屋学院大学さかえサテライト(中日ビル7階)、Bは日比野学舎

シンポジウム開催のお知らせ 『語ろう名古屋!』

歴史の流れを未来につなぐ
『界隈の創造力』

主催/名古屋学院大学地域連携センター
共催/名古屋市

- 日時 11月14日(日) 14時～16時30分
場所 名古屋学院大学白鳥学舎翼館クラインホール
定員 先着300名(無料)
概要
- ① 繊維問屋街と現代アート(長者町界隈)
新見栄治(あいちトリエンナーレ・サポーターズクラブ事務局)
武藤隆(大同大学工学部准教授・あいちトリエンナーレ2010アーキテクト)
古池嘉和(経済学部教授)
 - ② 歴史と未来を結ぶ(熱田、港界隈)
古橋敬一(港まちづくり協議会事務局次長)
相羽寿郎(クリエイターズマーケット主催 有限会社ピータ代表取締役)
水野晶夫(経済学部教授)
 - ③ 歴史を繋ぐ文化のみち(東区界隈)
名古屋おもてなし武将隊(信長)
井澤且旦(白壁アカデミア代表世話人)
三輪冠奈(商学部准教授)

申込方法など詳細は地域連携センター(052-678-4085)までお問合せください。

梶原壽名誉教授(元学長)が 叙勲受章

2010年春の叙勲で、梶原壽名誉教授(元学長)が、教育研究功労で瑞宝中綬章を受章されました。また、可児島俊雄元商学部教授も同章を受章されました。

梶原名誉教授には「懐かしの恩師は、今」でお話をうかがっています。

AO入試(プレゼンテーション方式)における 同窓会長推薦について

AO入試(プレゼンテーション方式)が11月下旬より実施されますが、その中に同窓生子弟を対象とした同窓会長推薦による受験区分を設けております。AO入試(プレゼンテーション方式)で受験をお考えの同窓生子弟は、同窓会事務局に推薦書の発行についてお問い合わせください。

AO入試(プレゼンテーション方式)は、学科試験は課さず、面接とプレゼンテーションを通し、学習意欲や目的意識の高い人材を求める入試です。

出願期間は下記のとおりです。期間中に同窓会長推薦書に加え、調査書、入学願書と自己PRシート等を併せてご提出ください。

AO入試(プレゼンテーション方式)

出願期間(消印有効)

2010年11月1日(月)～11月19日(金)

試験日

面接/11月27日(土)
プレゼンテーション/12月11日(土)

合格発表日

12月17日(金)

大学案内・入試要項等のご請求は入学センター(052-678-4088)までお問い合わせください。

Cafe & Bakery MillePostuNSN

本学日比野学舎1階のカフェ「Cafe & Bakery MillePost」では、名古屋市熱田区でのまちづくり活動の一環として、カフェのほかさまざまな活動を展開しています。

熱田区役所と連携して、「親子パンづくり教室」や行政出前講座「あったか交流カフェサロン」などの交流イベントを開催するほか、熱田区社会福祉協議会と連携した「あったかミニ福祉フェスタ」では、区内福祉施設の自主製品の逸品販売や福祉講演会などを開催しています。また、日比野商店街と連携した清掃活動への参加に加え、フェアトレードコーヒーの注文などを通してEXPOエコマネーを発行するなど、エコ活動にも取り組んでいます。

2008年1月のオープン以来、地域と連携したマイルポストの活動は年々活発化しており、テレビ、新聞などのメディアに度々取りあげられ



▲マイルポストスタッフと日比野商店街の皆さん

ています。同窓生の皆様もぜひ一度足をお運びください。

2010年度入試結果と 2011年度入試に向けて

2010年度入試については、2009年度からの経済不況により「安・近・少」(安全志向・地元志向・受験校の絞込み)の傾向が続き、本学の位置する愛知県においてはその傾向が一層顕著となりました。

そうした状況下において、本学の総志願者数は3,846名となり前年度より4.3%の増加となりました(下表参照)。入学者については、昨年とほぼ同様の1,342名となり、入学定員(1,170名)の1.15倍の新入生を迎え入れることができました。今年度新設のスポーツ健康学部、リハビリテーション学部についても、入学定員を上回る入学者を迎え入れることができ、良いスタートが切れました。

次に、2011年度入試についてです。AO入試と一般入試を中心として次のとおり変更点がございます。

- ① AO入試について、セミナー方式とプレゼンテーション方式の2種類を実施します。セミナー方式は従来の体験入学AO入試を、プレゼンテーション方式は自己推薦AO入試を発展させたものです。セミナー方式は9月25日(土)・26日(日)に授業を受け、課された課題の確認・発表等を10月2日(土)に実施します。プレゼンテーション方式は、11月27日(土)に事前に提出された書類による面接(約30分)、その後課された課題のプレゼンテーションおよび質疑応答を12月11日(土)に約30分で実施します。
- ② 一般推薦入試(前期)において、商学部のみ専門学科の方を対象に商業系科目と面接で受験できるようになりました。また、小論文と面接での受験の場合、評定平均値に部活動・取得資格の状況に応じて加算を実施する対象学科を英米語学科まで拡大し、実用英語検定やTOEICなどの英語に係る資格について評定平均値への加算を実施します。
- ③ 一般入試については、前期日程と中期日程において、同一日・同一学部内での2教科型と3教科型の併願を可能とします。
- ④ センタープラス方式入試について、検定料を35,000円から15,000円に減額します。センター利用入試についても、他入試同様、2回目の受験時には検定料を10,000円に減額します。

なお、2011年度入試要項の詳細は、2011年度入試ガイドを入学センターまでご請求ください。大学パンフレット等とあわせて送付いたします。

2010年度入試結果(各入試区分を合算)

人(女子は内数)

学部	学科	志願者				合格者				入学者			
		2009		2010		2009		2010		2009		2010	
		全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子
経済	経済	1,108	102	1,220	114	640	71	619	73	357	24	341	37
	政策	314	37	376	51	290	39	301	36	174	25	194	17
商	商	656	149	693	161	368	104	359	95	276	80	252	69
	経営情報	356	101	236	50	178	61	179	46	118	40	113	26
外国語	英米語	485	261	440	266	263	151	274	168	144	78	130	83
	中国コミュニケーション	61	35	78	33	56	31	76	32	27	10	46	19
	国際文化協力	122	66	106	67	96	52	104	69	48	24	49	30
スポーツ健康 ※1	スポーツ健康	208	53	396	53	162	42	189	31	98	20	133	21
リハビリテーション ※2	理学療法	377	102	301	77	153	55	143	42	78	25	84	20
総計		3,687	906	3,846	872	2,206	606	2,244	592	1,320	326	1,342	322

※1 2009年度は人間健康学部人間健康学科

※2 2009年度は人間健康学部リハビリテーション学科

■第2～3志望合格者は合格学科に算入。

2011年度入試日程

試験日	試験区分
9月25日(土)・26日(日)・10月2日(土)	●AO試験(セミナー方式)
10月2日(土)	●海外帰国生徒特別試験(前期)
	●社会人特別試験(前期)
	●編入学一般試験(前期)
	●外国人留学生一般試験(前期)
11月6日(土)	●スポーツ推薦入試(前期)
11月6日(土)・7日(日)	●一般推薦入試(前期)
11月7日(日)	●指定校推薦入試
面接:11月27日(土)	●AO試験(プレゼン方式)
プレゼン:12月11日(土)	
12月11日(土)	●一般推薦入試(後期)
	●スポーツ推薦入試(中期)

試験日	試験区分
1月30日(日)・1月31日(月)・2月1日(火)	●一般入試(前期)
2月15日(火)	●一般入試(中期)
	●センタープラス方式入試
	●海外帰国生徒特別試験(後期)
	●社会人特別試験(後期)
2月25日(金)	●編入学一般試験(後期)
	●外国人留学生一般試験(後期)
3月11日(金)	●一般入試(後期A日程)
	●スポーツ推薦入試(後期)
	●一般入試(後期B日程)

※上記のほか、センター試験利用入試(前期・後期)も実施します。個別試験はありません。

2010年度 名古屋学院大学 インターンシップ 受け入れのお願い

学習意欲あふれる後輩の インターンシップ受け入れを！

学生が在学中に企業等において就学体験を行うインターンシップに対する学生及び社会の関心が高まる中、各大学の支援体制や地域の推進活動も充実してきています。また、昨今の経済・社会環境の劇的な変化に伴う変革期に、インターンシップを活用した積極性・創造性豊かな人材が活躍する社会時代を作り上げるよう、産学官協同の重要性が改めて叫ばれています。

本学でも、インターンシップは学生のキャリア形成において重要な位置を占めており、全学年・全学部の学生が参加できます。また、全学部・学科で単位認定を行っています。2009年度は160名の学生が参加いたしました。

今後も意欲のある学生がインターンシップに参加してくれるよう、大学としても体制を強化していきたく考えています。そのためには、今以上に学生を引き受けていただく企業を増やしていく必要があります。同窓生の皆様には是非とも本主旨にご理解をいただきたくお願い申し上げます。



インターンシップとは

学生が企業等において就学体験を行う制度です。産業の活性化とそれに応える教育の改革を視野に入れたインターンシップは、今、産業界および教育現場の熱い注目を集めています。

インターンシップのメリット

企業のPR効果
参加学生による口コミ、キャリアセンターからの学生への宣伝告知力があります。

優秀な人材の確保

学生の資質や特徴を見極める方法や基準作りの参考になります。

職場の活性化

若手社員の研修としての位置付け、学生による業務改善点の指摘などが見込めます。

大学とのコミュニケーションの構築

大学・学生への貴社認知度の向上は、採用活動にも有益となります。



インターンシップ 体験者の声

インターンシップを経験し、実社会にふれた学生の体験談を紹介します。

研修先
ロイヤルパークイン名古屋

参加学生
杉野良子さん
(外国語学部英米語学科)



学生のうちに 社会を体験できるチャンス

インターンシップ参加のきっかけは、就職のことを真剣に考えようと思ったことと、少しでも早くから就職についていろいろ知っておこうと考えたからでした。

私は名古屋駅近くにあるロイヤルパークイン名古屋というホテルで研修を受けました。研修内容は、主に朝食バイキングやランチ、

ディナーなどの準備です。その他に、お皿やシルバーを拭いたり、お客様のものに料理を運んだりしました。時間に余裕がある時はテーブルマナーも教えていただきました。研修を通して学んだ事は、何よりもまず挨拶が大切だということです。出勤したら、「おはようございます」という元気な挨拶。挨拶無しでは印象が悪くなると指摘を受けました。休憩をいただく際にも先輩方にひとこと言ってから休憩するなど基本的な礼儀の大切さを実感しました。また、時間厳守の大切さや、身だしなみを整える事も厳しく教えていただきました。ホテルで働くという事は自分がイメージしていたよりも厳しく、また、体力のいる仕事でしたが、とても自分のためになったと感じています。

インターンシップに参加することで社会に対する視野が広がり、自分に足りない部分や甘く考えてしまっている部分が見えてきて、自分を見つめ直す事ができました。インターンシップを通して新たな自分を発見出来たように思います。

2010年度名古屋学院大学 インターンシップ(春季) 概要について

期間 _____

春季/2011年2月上旬~2月下旬

実習 _____

上記期間中の2週間(実動10日間)

待遇 _____

「通勤費」「手当」「食費」について、原則として支給していただくことなく結構です。

保険 _____

インターンシップ実施期間中の事故(通勤および実習中)については、本学で学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に加入しています。

募集学年・学部 _____

全学年・全学部の学生を対象としています。(春季は1~3年生対象)

募集方法 _____

本学キャリアセンターが、受入企業・団体一覧を学生に開示。参加を希望する学生には、希望の実習先名や参加動機、実習目標、自己PRなどを記入する「インターンシップ参加申込書」(本学所定様式)を提出させます。

学生の選考 _____

本学教員が面談・選考いたします。

誓約書 _____

実習期間に知り得た機密および個人情報の守秘義務を守るため、実習生は誓約書を提出します。

覚書の締結 _____

企業・団体と本学との間で、インターンシップの実施にかかる取り決め事項の確認をいたします。

インターンシップ受け入れの詳細は、名古屋学院大学 キャリアセンターまでお問い合わせください。

名古屋学院大学 キャリアセンター
TEL 052-678-4090 E-mail career@ngu.ac.jp

TEACHERS' NOW

懐かしの恩師は、今

在学中にお世話になった恩師の
近況をお伝えする企画です。

愛と非暴力の
崇高さを訴えた
キング牧師、
今も精力的に
研究を続けて
います。



外国語学部
梶原 壽 名誉教授
神学博士
名古屋学院大学 名誉教授

平成15年に定年退職されるまで、名古屋学院
大学で35年の長きにわたって教鞭を執られ、要職
も歴任された梶原壽名誉教授。梶原名誉教授の
近況をお聞きするとともに、同窓生へのメッセージ
をいただきました。

—宗教学が「専門と伺いましたが、主要な研究
テーマを教えてくださいませんか。

そのことを語るには、まず私の略歴を簡単に
説明しないと分かりづらいと思います。私は
1966年に東京神学大学院の神学研究
科でキリスト神学の中でもドイツ系神学を中
心に専攻し、神学博士号を取りました。そして
2年後の1968年4月に名古屋学院大学経
済学部講師・宗教主任として赴任して来る訳
です。そして、新入生に宗教学を教える際に選んだ
テキストは、アメリカのマティン・ルーサー・キング
牧師著作の「自由への大いなる歩み」でした。4月
の第2週から講義をはじめることになっていたん
ですが、その第1週にキング牧師が暗殺されたとい
うニュースがアメリカから飛び込み、非常に驚い

た。愛の精神と非暴力を訴えて社会を改革しよ
うとしたキング牧師が、暴力によって倒される不
条理。キリスト教国と信じていたアメリカで起こっ
たこの出来事をきっかけに、「キリスト教とはい
ったい何か」という根源的なことを問われたよう
な気がしました。そこから私の研究テーマは「キン
グ牧師を中心としたキリスト教研究」に方向転
換した訳です。

私の講義を受けた諸君は、キング牧師の話はか
り聞いたなど記憶されていると思います。キング
牧師を研究する背景には、このような時代背景
があったのですね。

—今でもキング牧師の研究は続けられています
か。

もちろんです。名古屋学院大学に在籍中の平
成7年に創設した「日本M・L・キング研究会」
の幹事として、全国的に活動を行っています。また、
通信が発達したインターネット時代のおかげか、
ネット検索で私の著作や論文を探して読んでくれ
る若者がいる訳です。いろんなところにキング牧

師を研究したいという人々がいて、そういう方が
よく訪ねて来ます。その際は助言をしたり、指導
をさせていただいています。私にとってキング牧師
研究は、真正正銘のライフワークですね。

キング牧師の説教の特徴は、キリスト教の教え、
聖書の教えを教会の中だけに留めず、社会の問
題・世界の問題と絡めて広く展開したところだ
す。これが非暴力の精神と結びついて世界に大き
な影響を与えているのです。まさに現代は暴力の
時代ですから、キング牧師が説く非暴力の世界を
どうやって構築していくかという一番大きなテー
マを私たちに与えてくれています。

—非暴力といえば、インドのガンジーを想起しま
すね。

キング牧師は、大学生の時からガンジーの著作
を読んで非常に大きな影響を受けていた方です
から、その指摘はわかります。キング牧師とガンジ
ーは切り離すことができません。ガンジーは宗教
的にはヒンズー教の教えから出発していますが、
2人の間には宗教は違えど目指すところは同じ
「世界の「市民」という点で全く共通しています。
より良い世界を築くために、宗教の違いで争う
必要性は全くありません。宗教のマイナスポ
イントをあえて言うならば、宗教の違いが人間の生き方を
分けてしまうということでしょうか。しかし、偉
大な人間は人種や宗教の違いを乗り越えて分か
りあえる訳です。キング牧師から見たガンジーは
「真のクリスチャン」といつてもいいし、またガンジ
ーの立場から見たキング牧師は「真のヒンズー教徒」
ともいえます。これからの世界はそうであるべき、
そうでないといけないと思えますね。例えていうと
「アプローチの仕方は違っても、目標とするゴールは
みんな一緒」ということでしょうか。

キング牧師が人類に残した偉大な貢献の一つ
は、報復精神を乗り越えたことです。人種差別感
情が激しかった当時、「恨みからは何も良いこと
は出てこない」「報復からは悪の連鎖しか生まれ
ない」と訴え、報復から赦しへと人々を導いた。キ

リスト教の赦しの精神を徹底して求めた訳です。
それが今も人々に大きな影響を与える由縁では
ないでしょうか。その一番大きな歴史的成果が、
アメリカ合衆国にオバマ大統領が誕生したとい
うことです。オバマ大統領のスピーチを読むと、必ず
キング牧師の考えを踏まえていますし、これも至
極当然のことといえるでしょうね。

—では、最近の「活動内容等」をお聞かせください。
いろいろありますが、2010年春の叙勲で、
教育研究功労で「瑞宝中綬章」を受章したこと
が大きなニュースといえます。これは一つのことを
集中して深く探究していけば、必ず多くの広が
りが出てきて、人々から感謝される道が拓かれる
という証かもしれないと私自身は考えています。

また、名古屋学院大学の留学生別科にて今年
後期の「日本の宗教」という科目を担当すること
になりました。同窓生の皆さんが名古屋キャンパス
に来られた際に、顔を会わせる機会もあるかもし
れません。その時は気軽に声をかけてください。

そしてキング牧師研究に関していえば、今一冊
の本を翻訳しており、来年あたりに日本で出版で
きるようにしたいと思っております。タイトルは
『説教者キング ―アメリカを動かした言葉―』
(リチャード・リッシャー著)です。そのために今年の
秋に渡米し、著者と会っている話し合っている
予定です。これからさらにキング牧師研究の新しい
方向を見出したいと願っています。今年で78
歳になりましたが、生涯現役で頑張り抜きたいで
すね。

—最後に、同窓生の皆さんへ一言お願いします。

同窓生の皆さんには、是非とも自分が学んだ
名古屋学院大学に誇りを持ってほしいと思います。
人間は誇りを持たないと前進していく意欲が生
まれて来ません。本学には素晴らしい先生方が
たくさんいらっしゃるし、良い施設もいっぱいあるん
です。誇りを持って自分の人生を頑張っていた
だきたい、この一言に尽きます。

名古屋学院トピックス

名古屋中学校・高等学校の新校舎建設 2010年12月第二期工事が完了



名古屋中学・高等学校「創立120周年記念行事」の新校舎建設は、第二期工事に入り12月には校舎棟が完成し、三学期から中高生徒2,150名の全員が、新しい校舎へ引越しの計画で順調に進んでいます。昨年9月に一足早く完成した新校舎教室では、この夏休みも連日多数の高校3年生が登校し、来春の大学進学に向け「夏期の進学講座」や自習室として、快適な環境のもと計画的に受験準備を進めています。関東・関西の大学を志望する生徒が多い反面、近年では地元大学の志望する生徒も増加しています。

確実に成果をあげる名古屋高校部活動

高校テニス部は、今年の沖縄インターハイテニス競技・団体戦で7年ぶり4回目の全国優勝に輝きました。春の選抜大会も含めこの数年間は優勝候補としてたびたび取り上げられていましたが、念願叶つての優勝でした。また、昨年の奈良インターハイでは陸上競技部が400mリレーで日本一に輝いており、どの部活も大きな夢と高い目標に向かって、自身とチームのメンバーが切磋琢磨し鍛え、本校の掲げている「学習とスポーツを通して紳士となる」ことを目指し、実践し確実に成果をあげてきております。今後もご期待ください。



同窓会員の「ご子弟を、ぜひ名古屋中学・名古屋高等学校へ!!

現在次年度入試要項を配布中です。必要な方は事務局(学務課)へ請求ください。なお、入試に関してのご相談も随時受け付けておりますのでご連絡ください。(052-721-5271)

大学院トピックス

大学院からのお知らせ (大学院入学試験・説明会について)



本学大学院は1997年に経済経営、外国語学研究科を開設、2001年には日本初の通信教育課程による英語学専攻を開設し、幅広い教育・研究ニーズに対応しています。大学院では、高度な専門職業人養成を目的に、優秀な教授陣のもと実学的なカリキュラムを展開しています。本学大学院は、特に社会人が学びやすいよう次のような特徴があります。

- ① 昼夜開講制
 - ② 名古屋市都心部、中日ビル内の「さかえサテライト」で講義
 - ③ 各種奨学金や長期履修制度など、多様な制度が充実
- また、経済経営研究科では税理士試験の一部科目免除が受けられるコースも設置しています。

通信制大学院(英語学専攻)では、学習意欲があつても「仕事のため通学する時間

がない」「名古屋から遠隔地に在住している」といった、時間的・地理的に制約がある方でもご自身のキャリアを中断せずに学んでいただける場を提供しています。

本学大学院は、社会人の方に広く学んでいただける環境を完備しています。「もう一度勉強したい」「会社で新たな知識を活かしたい」「税理士試験の一部科目免除を目指したい」など、このような考えをお持ちの方はぜひ大学院進学をご検討下さい。

【お問い合わせ先】

名古屋学院大学さかえサテライト 大学院事務室
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階
TEL: 052-242-5300 FAX: 052-242-5341
E-mail: ngugs@ngu.ac.jp

- 経済経営研究科
経済学専攻(修士課程)
経営政策専攻(博士前期・後期課程)
- 外国語学研究科
英語学専攻(修士課程)
国際文化協力専攻(修士課程)
- 通信制大学院外国語学研究科
英語学専攻(博士前期・後期課程)

同窓生交流のネットワーク

同窓会ホームページ 「NGUDO.com」

名古屋学院大学同窓会 ホームページ <http://ngudo.com/>

同窓会事務局では、皆様のご意見・アイデアを
ハガキ・FAXでもお待ちしております。
「NGUDO.com」同様、お気軽にご投稿ください。

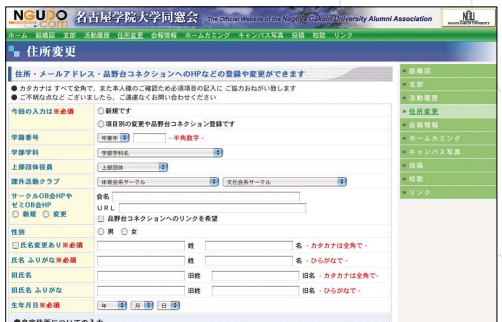
インフォメーション
Information

同窓会ホームページ「NGUDO.com」は、開設11年目を迎えます。今や3万8千人を超える同窓生の皆様に、本ホームページを同窓生交流の場として利用していただくため積極的に運営を行っております。本会報をお読みの同窓生の皆様、お気軽に同窓会ホームページにアクセスしていただき、活発な情報交換の場としてご利用ください。また、活発な情報交換の場としてご利用ください。同窓生の皆様へ発送した郵便物のうちかなりの数が宛先不明として返送されてまいります。一人でも多くの方々に情報をお伝えするために、お知り合いの同窓生の消息をご存知の方は本ホームページをお知らせいただき、住所登録・変更ページに情報の書き込みをご案内していただくと幸いです。

同窓会への要望・質問はもちろん、皆様からいただいた貴重なご意見を今後の同窓会運営に活かしてまいりますので、「NGUDO.com」を是非ご利用ください。



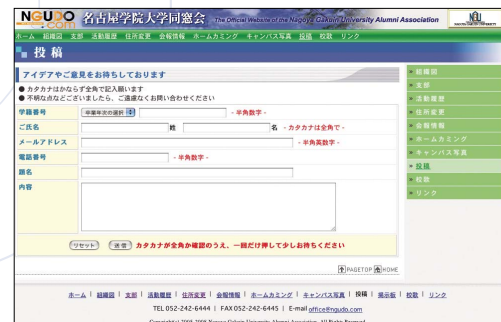
●トップページ



●住所登録・変更ページ



●支部ページ



●投稿ページ



関東支部

榊原金市 (70年卒)
〒125-0035
東京都葛飾区南水元三丁目4-1-1002
TEL 03-3600-5726

三重支部

中野隆自 (71年卒)
〒516-0077
三重県伊勢市宮町2丁目8番2号
ラ・フエンテ2F
(有)ジャパンネットワークピア内
TEL 0596-28-8186

石川支部

油谷 哲治 (83年卒)
〒924-0801
石川県白山市市中町63番地1
石川中央交通(株)
TEL 076-274-2100

富山支部

小山民夫 (74年卒)
〒939-8192
富山県富山市布市新町209
TEL 090-7588-2701
勤務先 (株)名鉄ヤマホテル

福井支部

山本章五 (68年卒)
〒918-8231
福井県福井市間屋2-33
八百五飲料食品(株) 内
TEL 0776-24-9890

中国・四国支部

大北浩資 (79年卒)
〒702-8022
岡山県岡山市南区福成3-6-13
TEL 086-264-8831

▼**支部連絡先**

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。またホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

同窓会ホームページアドレス
<http://ngudo.com>

▼**同窓会員の皆様にご注意を**

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話・FAX、はがき等で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。

▼**住所変更届けのお願い**

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不明による郵便物の返送がかなり発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡いただくか、同窓会ホームページの「住所登録・変更ページ」にて変更していただきますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方をご存じの場合も、同様にご連絡いただけますようお願い致します。

連絡先
名古屋学院大学同窓会事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄4-1-1
中ビル7階
TEL 052-242-1644
FAX 052-242-1644
※同封の住所・勤務先等変更FAX用紙をご利用ください。

名古屋学院大学同窓会会報 名古屋学院大学同窓会事務局発行 〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中ビル7階
TEL 052-242-1644
編集スタッフ 〈担当副会長〉須崎英晴(78年卒) 〈広報委員長〉近藤大輔(96年卒) 〈副委員長〉伊藤富裕(73年卒) 〈副委員長〉森田浩二(88年卒) 〈事務局長〉藪下靖浩(82年卒) 〈事務局〉豊田登志子